

非正規職員の処遇改善は課題

減っていく常勤職員、4人に1人が非常勤嘱託員 臨時的でない仕事は「正規職員」で

市役所では行財政改革によって、職員数の削減が行われ、常勤職員が年々減っています。それを補っているのが非正規職員（再任用短時間職員・非常勤嘱託員・臨時職員）です。その中でも、継続的な仕事に従事しながら正規職員ではない「非常勤嘱託員」が4人に1人です。

【職員の割合】

常勤職員	62.8%	6,151人
再任用	5.8%	567人
非常勤	27.2%	2,684人
臨時職員	4.6%	454人

本来、臨時的でない業務は、正規職員によって担っていくべきです。

学校現場にある非正規「学期雇用」の形態は改善を

学校現場では、夏休み・冬休み等があるために、非正規雇用の一部分に「学期雇用」という形態がとられています。教育委員会の非正規雇用 2,125人のうち 474人（22.3%）が学期雇用です。事務補助・主事補助・司書業務補助・給食調理補

助・給食受入業務補助の業務がそれにあたります。1年間勤務しても、学期ごとに雇用が途切れるために、学校休業中の給与やボーナス支給がなく、有給休暇もありません。不安定雇用を放置せず、改善すべきです。

（現在、非正規雇用は「会計年度任用職員」と呼んでいます）

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1200
2020年8月30日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：共産党 熊本市議団



検索



2021年度から使用の「中学校教科書」が決定

2021年度から使用される「中学校教科書」の採択作業が行われてきました。6月の教科書展示会、7月末から8月にかけての教科書の採択にかかる臨時教育委員会会議開催を経て、8月11日の臨時教育委員会会議において、各教科の教科書が以下の通り、採択されました。

注目されていた社会科の「歴史」・「公民」では、日本の植民地支配やアジア太平洋戦争などについて歴史的事実をゆがめて正当化し、改憲へと誘導するような「つくる会」系教科書は採択されませんでした。

<国語> 国語：光村図書「国語」

書写：光村図書「中学書写」

<社会> 地理的分野：帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

歴史的分野：東京書籍「新しい社会 歴史」

公民的分野：東京書籍「新しい社会 公民」

地図：帝国書院「中学校社会科地図」

<数学> 啓林館「未来へひろがる数学」

<理科> 啓林館「未来へひろがるサイエンス」

<音楽> 音楽一般：東京芸術社「中学生の音楽」

器楽合奏：東京芸術社「中学生の器楽」

<美術> 日本文教出版「美術 美術との出会い 学びの美感和広がり 学びの探求と未来」

<保健体育> 東京書籍「新しい保健体育」

<技術・家庭> 技術分野：東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」

家庭分野：東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」

<外国語> 英語：光村図書「Here We Go! English Course」

<特別の教科 道徳> 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる道徳ノート」



「南部豪雨災害」 人吉市を中心に熊本市から支援

日本共産党市議会だより 2020年8月30日号 (No.1200)

各局からの多面的な支援・・・猛暑の中、職員のみなさまご苦勞様でした

人的支援や資機材での支援

【総括支援チーム】 発災した7月4日から、人吉市への災害マネジメント支援実施（各種幹部への調整・助言・災害対策本部会議出席・復興本部会議出席など）

【保健師チーム】 7月6日～8月10日

【上下水道局】（7月4日～8月13日、人吉市・球磨村・八代市）

- ・ 応急給水活動支援 「職員派遣ならびに給水車の貸与」
- ・ 下水道施設の被災調査、水道被害状況調査

【消防局】・人命救助支援、応援隊、行方不明者捜索協力等（7月4～31日）

- ・ 消防車両の貸与・・・タンク車、救急車、救助工作車（計3台）

【病院局】 人吉医療センター・避難所への看護師等派遣（7月8日～14日）

【文化市民局】 避難所運営関係業務（7月14日～当面の間）

昼・夜交代で13～15名（うち西予市・総社市・和泉市から各3名派遣）

【経済観光局】 物資関係業務（人吉スポーツパレス・7月14～31日）

【財政局】 住家被害認定調査関係業務（人吉市一円、7月13日～8月24日、10～20名）

【健康福祉局】 罹災証明関係業務（人吉市、7月13～24日）

被災者相談窓口支援（7月16日～8月21日）

【都市建設局】 応急修理業務（7月27日～8月28日、3人）

土砂撤去業務支援 8月1日～9月末(予定)、土木職2～3名

【環境局】 7月13日～8月28日まで、事務処理の支援とごみの収集支援

7月13日～8月1日までに、のべ614人が人吉市・芦北町へ入る。

延べ185台の収集車が稼働しました。東部環境工場で受け入れた燃やすごみは、1081トンです。

物資の支援

【物資調達】 *被災地へ、企業からの物資調達と搬送

夕食分カップ麺 1,584食（マックスバリュ九州株）

アルファ米 1,000食（熊本市備蓄等）

お茶（500ml） 4,000本（株鶴屋百貨店）

おにぎり 10,000個（株ヒライ）

お弁当 11,300食・お茶（500ml） 16,300本（株ヒライ）

【搬送協力】 2tトラック1台（熊本県トラック協会）

【車両提供】 7月4～9日、キャンピングカー1台（株ホワイトトップ）

【物資搬送】 7月7日（輸送：自衛隊）

災害用備蓄毛布 400枚

フランネル毛布 800枚

毛布にもなるカバー無地 60枚

簡易組立トイレ&ハウス型テント 11個

緊急用トイレ袋 80枚

*その他、総社市の物的支援への協力（2tトラック1台分）

【教育委員会】

・熊本市教育センターから球磨村立小中学校3校にタブレット端末（iPad）110台を貸与。

・教育センター職員5名、ICT支援員1名の派遣。



新型コロナや猛暑の中での復旧にはさまざまな困難があります。未曾有の災害から、1日も早く、被災者が元の生活を取り戻すためには、公的な支援こそ重要です。熊本市の引き続き支援が求められます。

（報告内容は、8月21日現在の状況です）

